

MUTOH

第64期

中間(第2四半期)報告書

平成24年4月1日から平成24年9月30日まで

MUTOHホールディングス株式会社

銘柄コード 7999



INSPIRATION
IDEA
IMAGE



■株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、第64期中間（第2四半期）報告書をお届けし、当期の業績および当社グループにおける取り組みにつきまして、ご報告申し上げます。

基本方針

常に革新し
挑戦を続け
社会に貢献する

■事業の経過および成果のご説明

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、長期化する欧州債務問題、世界経済の牽引役であったアジア新興諸国の成長鈍化傾向、長引く円高による我が国輸出企業の業績伸び悩み等により、先行きに対する不透明感が強まっております。

このような環境の中、情報画像関連機器事業では、サイン市場向けカッティングプロッタの新たな世界戦略機種として『ValueCutシリーズ』を市場投入いたしました。『ValueCutシリーズ』はカッティングプロッタ単体としてはもちろん、大判インクジェットプリンタ『ValueJetシリーズ』と組み合わせることにより、安価で高性能な“プリント&カットシステム”として、プロフェッショナルなユーザーニーズに対応しております。また、年度後半に向け、CAD用インクジェットプロッタ『RJ-900シリーズ』の後継機種として、従来機種に対して最大25%の高速化を実現した『RJ-900Xシリーズ』を開発するなど、製品ラインアップの強化に取り組んでまいりました。

経営成績では、主力事業である情報画像関連機器事業における業績は、本格的な回復に至らない国内・欧米地域の経済情勢の影響、OEM生産の減少、為替レート的大幅な円高による影響などにより、厳しい状況が継続しております。また、不動産賃貸事業においては、本社ビルのテナント退去に伴い、同ビルを業務効率の向上と意思決定の迅速化を目的として自社グループでの使用に変更したことにより収益は減少となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高86億90百万円（前年同期比17.9%減）となり、コスト削減に努めたものの売上高の落込みを吸収しきれず、営業利益34百万円（前年同期比92.6%減）となりました。また、円高の影響による為替差損を2億99百万円計上したことで経常損益は1億87百万円の経常損失（前年同期は6億80百万円の利益）となり、当四半期純損失3億17百万円（前年同期は2億97百万円の損失）となりました。

期末に向けてMUTOHグループは、業績回復を目指して攻めの経営戦略を展開していく所存でございます。皆様には、今後とも引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

連結決算ハイライト

○連結売上高	第64期第2四半期 8,690 百万円		
	第61期	第62期	第63期
	21,997 百万円	21,920 百万円	20,441 百万円
第2四半期	10,513 百万円	11,417 百万円	10,579 百万円

○連結営業損益	第64期第2四半期 34 百万円		
	第61期	第62期	第63期
	354 百万円	1,202 百万円	653 百万円
第2四半期	△2 百万円	775 百万円	463 百万円

○連結経常損益	第64期第2四半期 △187 百万円		
	第61期	第62期	第63期
	325 百万円	962 百万円	1,306 百万円
第2四半期	△34 百万円	553 百万円	680 百万円

○連結当期純損益	第64期第2四半期 △317 百万円		
	第61期	第62期	第63期
	217 百万円	800 百万円	△425 百万円
第2四半期	△269 百万円	545 百万円	△297 百万円

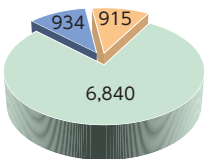
○連結総資産額	第64期第2四半期 25,182 百万円		
	第61期	第62期	第63期
	28,789 百万円	28,462 百万円	27,028 百万円

○連結純資産額	第64期第2四半期 17,755 百万円		
	第61期	第62期	第63期
	19,018 百万円	19,459 百万円	18,601 百万円

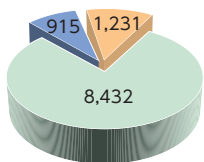
第2四半期事業別セグメント 売上高 (百万円)

情報画像関連機器事業 情報サービス事業
不動産賃貸事業ならびにその他の事業

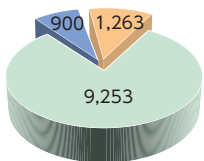
・ 第64期 **8,690** 百万円



・ 第63期 **10,579** 百万円



・ 第62期 **11,417** 百万円



通期の 業績予想

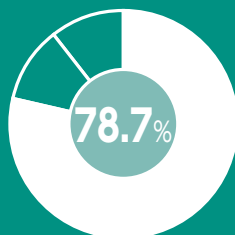
	単位：百万円			
	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
連結業績予想	21,000	500	500	300

(平成24年5月15日公表値)

依然として第2四半期連結会計期間以降も厳しい経営環境に取り巻かれ、現時点におきましては、長引く欧州債務問題や新興諸国の景気拡大の減速、為替の変動など流動的な要素が多いため、合理的に業績を予想することが難しくなっております。
従いまして通期業績予想につきましては、当面平成24年5月15日の公表値を据え置くことといたしますが、今後種々の要素が明確になり、業績予想に変更の必要性が生じた場合には速やかに開示いたします。

事業セグメントの概況

情報画像関連 機器事業



売上高
6,840百万円

アジア地域においては、新興諸国の経済成長鈍化の影響と国内でのOEM生産の減少により、売上高は34億16百万円（前年同期比20.5%減）、営業利益は81百万円（前年同期比75.1%減）となりました。
北アメリカ地域においては、積極的な販売活動により売上高は11億1百万円（前年同期比1.9%減）とほぼ前年並みを確保したものの、競争の激化により営業利益は6百万円（前年同期比87.9%減）となりました。
ヨーロッパ地域においては、大幅な円高と低調な経済の影響を受け、売上高は23億21百万円（前年同期比23.0%減）、営業損失は49百万円（前年同期は27百万円の損失）となりました。

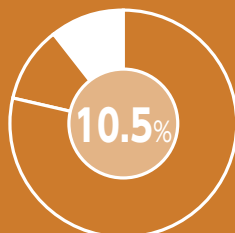
情報サービス 事業



売上高
934百万円

本格的な回復に至らない国内経済にあり大幅な改善とはなかったものの、継続的な販売力強化による新規顧客の獲得などにより、売上高は9億34百万円（前年同期比2.1%増）となりました。また、収益構造の改善とコスト削減に努め、営業利益は67百万円（前年同期比89.5%増）となりました。

不動産賃貸事業 ならびに その他の事業



売上高
915百万円

不動産賃貸事業においては、本社ビルの自社グループ使用への変更に伴う賃貸物件の減少により、売上高は1億49百万円（前年同期比62.5%減）、営業利益は1億5百万円（前年同期比53.8%減）となりました。
その他の事業においては、長引くデフレの影響を受け個人消費・設備投資が伸び悩む環境下において、スポーツサポート用品や設計製図機器等の製品は依然として厳しい状況にあり、売上高は7億65百万円（前年同期比7.9%減）、営業損失は15百万円（前年同期は6百万円の損失）となりました。

CAD用インクジェットプロッタ『RJ-900シリーズ』の後継機種 『RJ-900Xシリーズ』を新発売

“より速く、より美しく、より使いやすい”

CAD用インクジェットプロッタの新製品『RJ-901X』（A1サイズ対応）と『RJ-900X』（A0サイズ対応）の販売を開始しました。主な特長は以下の通りです。

- ◆当社従来機種に対して、ドラフトモードにおいて25%の高速化を実現（A1カラー作画：最速33秒）
- ◆サイン向け大判インクジェットプリンタで培われた技術を組入れ、写真画像やイラストなどのグラフィックス要素を多く含んだ図面の作画品質の向上を実現
- ◆和紙などの薄紙搬送能力の向上（用紙押さえの加圧力調整）
- ◆PCだけでなく、スマートフォンとも連携したステータスマニタ『VSM』に対応（プロッタ本体の様々な情報を、手軽に手で確認が可能）



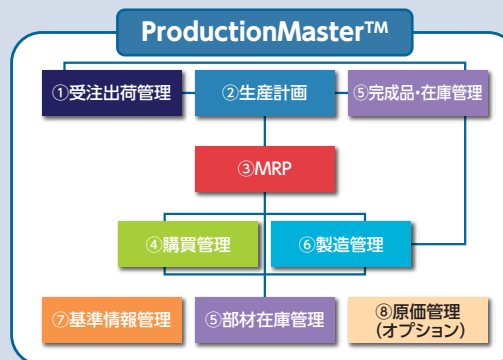
CAD 用インクジェットプロッタ
『RJ-900X』

統合型生産管理システム ProductionMaster™

使いやすい、導入しやすい、運用しやすい生産管理システム

ProductionMaster™は、受注から出荷まで工場の製造業務全般をカバーする統合型生産管理パッケージです。現在の工場の状況（基準値の精度）に合わせたステップバイステップの導入が可能となっております。

- ◆「使いやすさ」・「導入のしやすさ」・「運用のしやすさ」を最重要視
- ◆生産管理に必要な十分な機能を提供
- ◆食品業向けテンプレートにより食品加工の生産管理にも対応
- ◆KPI(重要業績評価指数)機能により、設備負荷率・在庫回転率、在庫金額推移、顧客納期遵守率、月次出荷金額推移などのリアルタイムな経営情報確認が可能
- ◆現場力に基づいた「使える」システムを提供



10mまで測長可能！ ロングストローク リニアエンコーダ『DL-10』を新発売

- ◆多彩な測長ニーズに対応
ワイヤーの引き出し量で機械装置の移動距離を計測。
土木工事、建築工事用機械の油圧ジャッキや産業機械などのストローク検出、劇場の縦帳／テレビ局スタジオのスピーカー・マイク、バトンのストローク検出、建築物の構造途中での高さ測定、エレベーター・クレーンの移動量検出など、長距離の測長ニーズに最適です。デジタルカウンタや位置決めカウンタと接続する事により移動量のデジタル表示や位置決め制御が簡単にできます。
- ◆過酷な使用環境でも高精度なストローク検出を保持
取り付け位置も柔軟に設定できるうえ、過酷な現場環境に耐える防滴・防塵仕様です。



リニアエンコーダ
『DL-10』

カッティングプロッタ『ValueCutシリーズ』を販売開始 “プリント&カットシステム”も実現

サイン市場向けカッティングプロッタの新製品として、『ValueCutシリーズ』の販売を開始しました。

『ValueCutシリーズ』は、サイン市場におけるカッティングプロッタの新しい世界戦略機種として位置付けており、ラインアップとして、カット幅610mmの『VC-600』、カット幅1,320mmの『VC-1300』、カット幅1,830mmの『VC-1800』の3機種を用意、高機能ながら価格を抑えたコストパフォーマンスの高い製品です。

主な特長は以下の通りで、プロフェッショナルな皆様の様々なニーズに対応しています。

- ◆サンドブラスト用ゴムシートや反射フィルムのカットが可能な最大カット圧600gを実現
- ◆クラス最高レベルの動作速度1,530mm/Sを実現
- ◆長尺の印刷物を複数のセグメントに分割し、高精度にカットするセグメントカット機能を搭載

『ValueCutシリーズ』は、カッティングプロッタ単体としてはもちろんのこと、MUTOH大判インクジェットプリンタ『ValueJetシリーズ』と組合せることにより、安価で高性能な“プリント&カットシステム”としてもご使用いただけます。



カッティングプロッタ『VC-1300』



カッティングプロッタのヘッド部

簡単! 高機能! 低価格!
三拍子揃ったカッティングプロッタ登場!

「ValueJet シリーズ」との組合せでハイコストパフォーマンスな“プリント & カット”を実現!

Easy

High Spec

Low Cost

ValueCut
VC-1300

MUTOH カッティングプロッタ
「ValueCut シリーズ」新発売!



大判インクジェットプリンタ
VJ-1324(プリント幅:1361mm)

ValueJet

教育機関向け3Dプリンタ『3DTOUCH™』を販売開始 入門タイプ機種を廉価で提供

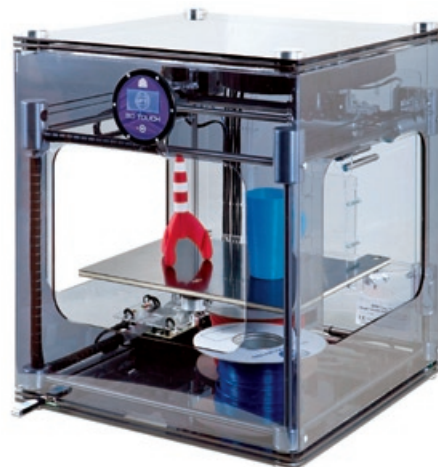
入門タイプの3Dプリンタ『3DTOUCH™』（本体価格35万円～：3D Systems社）の販売を開始しました。

『3DTOUCH™』は、USBドライブから直接データをロードして、PC接続無しで簡易型3Dモデルを作成できます。立体検証を必要としながら、プロ仕様の精密な成形モデリングまでは必要とされない工業高校や職業訓練校、さらには大学の研究室などを対象に、身近に3Dモデリングを体験していただくための廉価版の製品です。また、モデリング作成材料も植物由来成分から生成されたPLA（ポリ乳酸）とABS樹脂（アクリル系樹脂）をご用意、2種類全16色からお選びいただくことができます。

主な特長は以下の通りで、箱から出してすぐ使える3Dプリンタです。

- ◆タッチスクリーン表示とコントロールパネルを搭載
- ◆省電力、USBでデータをロードできるスタンドアロン・システム
- ◆大きな造形エリア（最大275×275×210mm）
- ◆シングル・デュアルからトリプルヘッドまで拡張が可能
- ◆簡単操作、簡単メンテナンスで保守契約は不要

これによりMUTOHでは、様々なお客様のニーズに合わせ、3Dプリンタの入門機種『3DTOUCH™』から、ハイエンドである石膏ベースの『ZPrinter®シリーズ』、高精細なモデルを作るUVアクリルベースの『ProJet™シリーズ』と、フルラインアップで製品をご提供できることとなりました。



3Dプリンタ『3DTOUCH™』



3Dプリンタ『3DTOUCH™』用材料例
(PLA全10色、ABS全6色)



3Dプリンタ『3DTOUCH™』によるモデル例

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別 当第2四半期末 平成24年9月30日現在	前第2四半期末 平成23年9月30日現在	前期末 平成24年3月31日現在
資産の部			
流動資産	14,301	16,530	15,863
現金及び預金	6,117	7,250	6,144
受取手形及び売掛金	3,220	4,255	4,347
たな卸資産	4,219	4,276	4,575
その他	743	747	796
固定資産	10,881	11,367	11,165
有形固定資産	8,444	8,544	8,626
無形固定資産	152	526	160
投資その他の資産	2,284	2,296	2,378
投資有価証券	1,713	1,514	1,815
その他	570	782	562
資産合計	25,182	27,898	27,028

(単位：百万円)

科 目	期 別 当第2四半期末 平成24年9月30日現在	前第2四半期末 平成23年9月30日現在	前期末 平成24年3月31日現在
負債の部			
流動負債	3,724	5,979	4,871
支払手形及び買掛金	2,193	3,252	2,960
短期借入金及び一年以内 返済予定の長期借入金	—	—	—
その他	1,530	2,726	1,910
固定負債	3,702	3,456	3,555
長期借入金	—	—	—
その他	3,702	3,456	3,555
負債合計	7,427	9,436	8,426
純資産の部			
株主資本	19,903	20,494	20,359
資本金	10,199	10,199	10,199
資本剰余金	4,181	4,181	4,181
利益剰余金	7,843	8,426	8,298
自己株式	△ 2,320	△ 2,313	△ 2,319
その他の包括利益累計額	△ 2,802	△ 2,667	△ 2,408
少数株主持分	655	635	650
純資産合計	17,755	18,462	18,601
負債・純資産合計	25,182	27,898	27,028

■連結損益計算書

(単位：百万円)

期 別	当第2四半期 自 平成24年 4月 1 日 至 平成24年 9月30日	前第2四半期 自 平成23年 4月 1 日 至 平成23年 9月30日	前 期 自 平成23年 4月 1 日 至 平成24年 3月31日
科 目			
売上高	8,690	10,579	20,441
営業利益	34	463	653
経常損益	△ 187	680	1,306
税金等調整前四半期（当期）純損益	△ 137	△ 222	7
四半期（当期）純損益	△ 317	△ 297	△ 425

■連結キャッシュ・フロー計算書

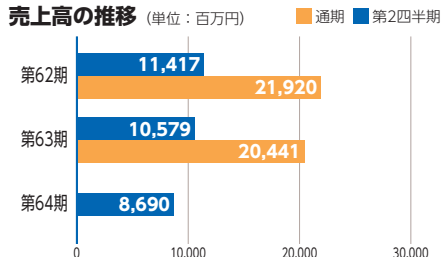
(単位：百万円)

期 別	当第2四半期 自 平成24年 4月 1 日 至 平成24年 9月30日	前第2四半期 自 平成23年 4月 1 日 至 平成23年 9月30日	前 期 自 平成23年 4月 1 日 至 平成24年 3月31日
科 目			
営業活動によるキャッシュ・フロー	458	604	△ 484
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1	△ 22	△ 276
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 167	△ 476	△ 521
現金及び現金同等物の増減額	△ 26	△ 342	△ 1,448
現金及び現金同等物の期首残高	6,144	7,592	7,592
現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高	6,117	7,250	6,144

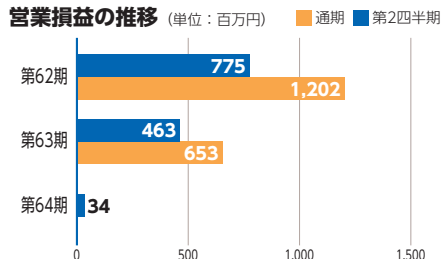
■事業セグメントにおける連結会社

事業区分	会社名
情報画像関連機器事業	武藤工業(株)・ムトーベルギー社・ムトーノースヨーロッパ社・ ムトードイツ社・ムトーアメリカ社・武藤工業香港有限公司・ ムトーシンガポール社・ムトーオーストラリア社
情報サービス事業	ムトーアイテックス(株) (株)ムトーエンジニアリング
不動産賃貸事業	MUTOHホールディングス(株)・(株)ムトーエンジニアリング・ (株)ムトーエンタープライズ
その他の事業	(株)ムトーエンジニアリング (株)ムトーエンタープライズ

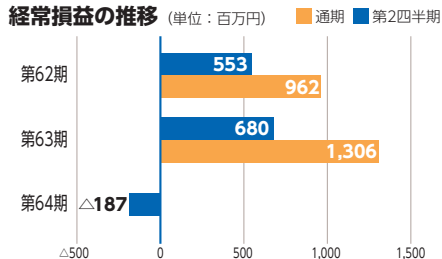
売上高の推移 (単位：百万円)



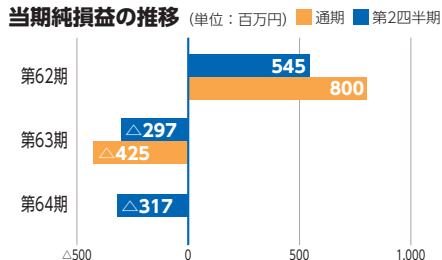
営業損益の推移 (単位：百万円)



経常損益の推移 (単位：百万円)



当期純損益の推移 (単位：百万円)



会社の概要 (平成24年9月30日現在)

商 号 MUTOHホールディングス株式会社
(英文社名 MUTOH HOLDINGS CO., LTD.)

設 立 1952年(昭和27年)3月5日
(創業:1942年(昭和17年)12月)

資 本 金 101億99百万円

本 社 事 務 所 東京都世田谷区池尻三丁目1番3号
TEL:03-6758-7100(代)

主な事業内容 グループ会社の経営管理および資産管理

ホームページ <http://www.mutoh-hd.co.jp>

MUTOHグループ会社



■ 役員 (平成24年9月30日現在)

取締役会長	高山允伯	取締役	青木久佳	常勤監査役	立沢肇
代表取締役社長	早川信正	取締役	竹田晶信	監査役	中野浩樹
取締役	矢田裕治	取締役	高山芳之	監査役	國峯信成

株式の状況 (平成24年9月30日現在)

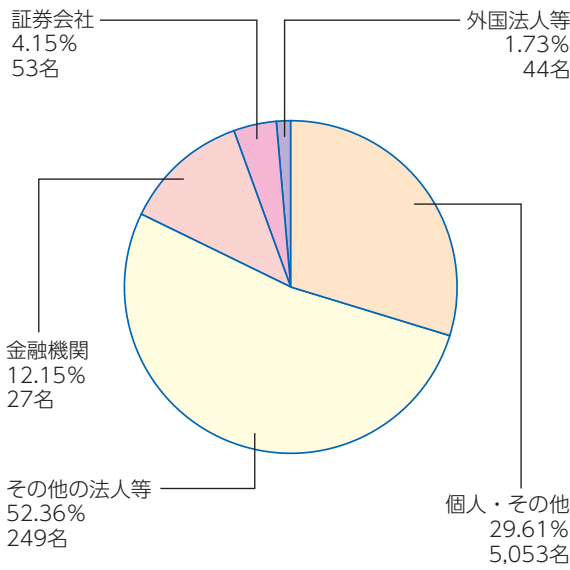
■ 発行可能株式総数	170,000,000株
■ 発行済株式総数	54,818,180株
■ 1単元の株式数	1,000株
■ 株主数	5,426名

大株主の状況

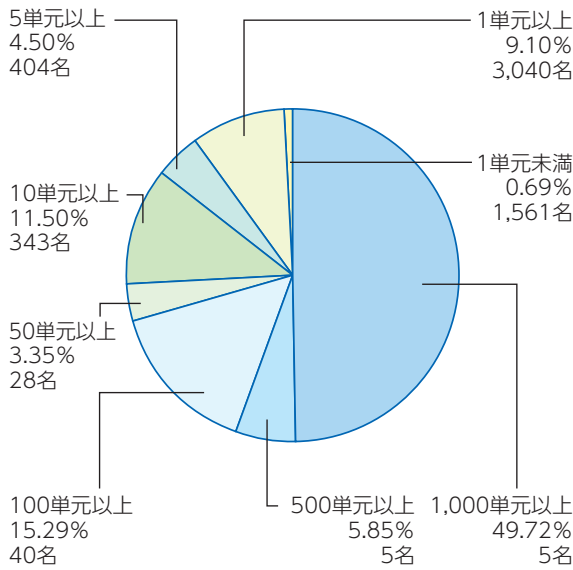
株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
TCSホールディングス株式会社	13,220,000	28.78
株式会社みずほ銀行	2,121,399	4.62
武藤栄次	1,580,586	3.44
三井住友信託銀行株式会社	1,457,000	3.17
ユニシステム株式会社	923,000	2.01
エヌ・ティ・ティ・システム開発株式会社	712,000	1.55
武藤郁子	638,603	1.39
堀啓一	591,000	1.29
ハイテクシステム株式会社	551,000	1.20
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	504,000	1.10

(注) 1. 当社は自己株式8,876,391株を保有しておりますが、上記「大株主」からは除いております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別分布状況



所有株式数別分布状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

期末配当金 毎年3月31日

受領株主確定日

中間配当金 毎年9月30日

受領株主確定日

公告方法 電子公告により当社ホームページに掲載
<http://www.mutoh-hd.co.jp>

※やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合には、「日本経済新聞」に公告いたします。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の全国各支店で行っております。

ご注意

1. 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

2. 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、

アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 7999

いいかぶ

検索



空メールにより
URL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からも
アクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、
右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2media)についての詳細 <http://www.a2media.co.jp>

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

MUTOHは地球環境に配慮し、より良い社会に貢献します。



PROJECT-
With the Earth

この冊子の印刷・製本に係るCO₂は
PROJECT-With the Earth を
通じてオフセット(相殺)しています。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。